

業種別業界景気動向調査結果 当所管内の概要

○調査時点／令和2年6月1日 ○調査対象／当所管内の中小企業者等140社 ○回答企業数／137社(回答率97.8%)

*DI値(景気動向指数) $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

DI値は、売上、採算、業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

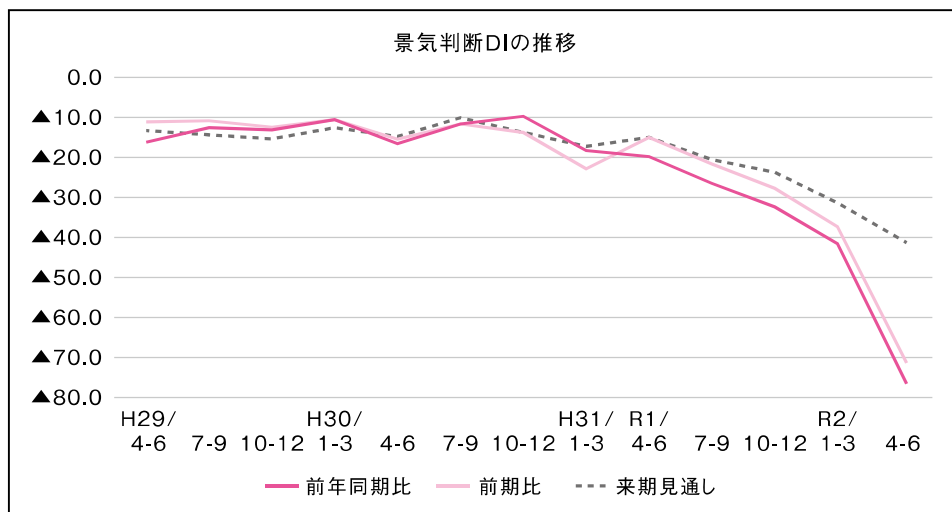
概況(今期(令和2年4月~6月期)の概要)

景気判断DI 新型コロナウイルスの影響で大幅悪化

景 気判断DIは、新型コロナウイルスの影響を受け、全ての業種で悪化。消費者の外出自粛や企業の営業自粛・休業の動きが広がり、幅広い業種で売上が低迷している。また、国際線の運休によるインバウンドの消失なども災いし、観光需要が激減している。

先 行きについては、新型コロナウイルスの影響長期化を懸念し、さらなる売上不振や、固定費の負担増により資金繰りが困難になるなど予測され、中小企業の景況感是一段と厳しさを増している。

I. ①管内景気動向 景気判断DI(「上昇した企業割合」-「下降した企業割合」の指数)



前年同期比ベース	▲75.9(↓34.5)
前期比ベース	▲70.8(↓34.0)
来期(先行き)見通し	▲40.9(↓9.3)

②その他DI

業況判断DI	
前年同期比	▲64.2(↓29.6)
前期比	▲63.5(↓25.9)
来期見通し	▲39.4(↓14.6)

売上高DI	
前年同期比	▲65.7(↓22.1)
前期比	▲61.3(↓19.2)
来期見通し	▲40.1(↓9.3)

雇用DI	
前年同期比	▲2.9(↓16.4)
来期見通し	0(↓12.8)

採算DI	
前年同期比	▲59.9(↓21.6)
来期見通し	▲43.1(↓11.5)

II. 業種別景気判断天気図

業種	前年同期比	前期比	来期	コメント
製造業				<ul style="list-style-type: none"> 売上の60%が自動車関連部品の製造加工であり、受注減少が続いている。回復の見通しが立たない中、設備計画の延期や銀行借入による手持ち資金の確保に注力中である。(機械) 外食(ホテル、料理店)での需要が大幅減少している。ビュッフェの大皿メニューは、今後減少すると思われる。そのため商品開発を急ぐ必要がある。受注が無い場合、長期間の生産調整を行っており、固定費がひっ迫している。(食品)
建設業				<ul style="list-style-type: none"> 民間の新規工事の受注を見込んで営業活動を続けていたが、客先から「コロナの関係で、今後の国内外の経済が読めないため、現段階での設備投資は一旦保留します」との連絡があり、受注が出来ず困っている。(総合工事) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で新築及びリフォームの物件が多少なりとも減少している。長期化するとさらに影響が出ると予想される。(板金)
卸売業				<ul style="list-style-type: none"> 卸売りは横ばい、小売りは営業時間短縮等もあり売上が減少している。(事務用品) 自動車業界の1/3は統廃合でなくなるのではないかと不安である。(中古車販売)
小売業				<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により、売上が減少し経営に大きな問題が出ている。回復の見込みも難しく、融資による安定化を図っているが先行きが見えない。(衣料品) 3密を避け、テレワークをと叫ばれているが、できる業種や人は限られている。自宅にこもって仕事ができるなら、コロナでなくても実施している。ネットで注文はできても、説明や設備の接続はできない。中小企業に対してさらなる支援を願う。(電気)
サービス業				<ul style="list-style-type: none"> 旅行業にとってはまさに直撃である。予約の発生は皆無の状態。インバウンドは国際線の運休によりこちらも皆無。旅行業にも支援を行ってほしい。(旅行) 堅調に推移してきた売上が、コロナにより大きく激減している。当面インバウンド需要は見込めず、国内の旅行者をターゲットに観光戦略の見直しが必要である。(ゲストハウス)
その他の業				<ul style="list-style-type: none"> 対面業務、長時間の会話がやりにくいので、営業力が落ち、能率が悪い。(不動産) 新型コロナの影響により、売上減となり、今後も回復の兆しが見えない。(貨物運送)

凡例					
	特に好転	好転	不変	悪化	特に悪化

トピックス

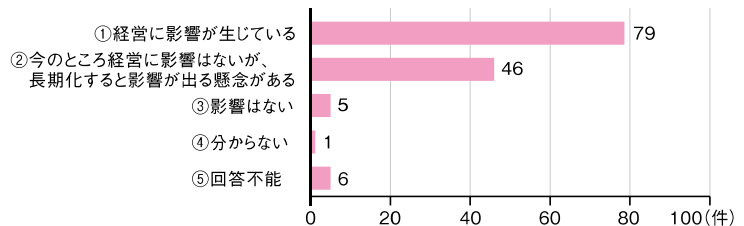
新型コロナウイルスの感染拡大について(回答企業:137社)

●新型コロナウイルスによる経営への影響について

新型コロナウイルスにより、「経営に影響が生じている」と回答したのは79社であった。また、「今のところ経営に影響はないが、長期化すると影響が出る懸念がある」と回答したのは46社であった。

業種問わず、新型コロナウイルスの影響を受けている企業は、全体の91%である。

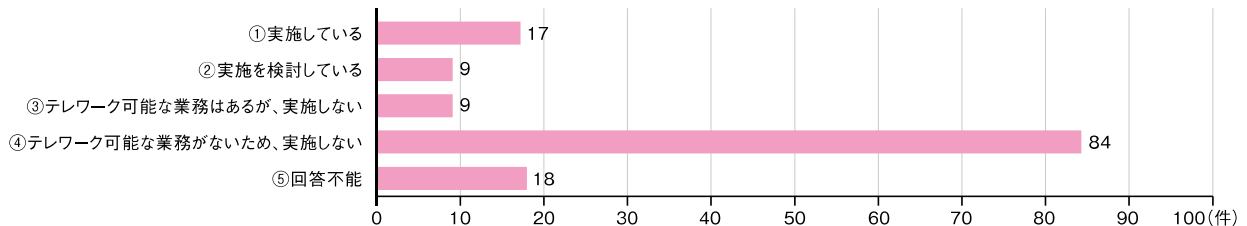
新型コロナウイルスの感染拡大による経営状況について(回答企業:137社)



●テレワークの状況について

テレワークの実施について、「テレワーク可能な業務がないため、実施しない」と回答したのは、全体の61%であり、接客業や製造業が多くみられた。また、「実施している」と回答したのは、17社であり、全体の12%であった。

テレワークの実施について(回答企業:137社)



※詳細は、高松商工会議所ホームページ(URL <http://www.takacci.or.jp/>)をご覧ください。

本件問い合わせ先 ————— 高松商工会議所 会員活動推進課 TEL825-3501